

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称 施策Ⅲ-3-3 国際化と多文化共生の推進

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 文化国際課長 坂本 偉健 電話番号 0852-22-6006

事務事業の名称	国際ネットワークの形成	
目的	(1) 対象	海外県人会、遣島使
	(2) 意図	島根県の情報発信を行い、島根県との関係を密接にする
事業概要	島根県出身の海外日系人が居住国の経済、文化及び社会の発展に寄与できるように、「海外県人会」に対して支援を行うとともに、県民と海外県人会員との連携及び協力を推進し、また、県内に滞在していた外国人とのネットワーク形成を促進し、世界に島根県を発信すべくネットワークを広げる	

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		8.00	8.00	8.00	
式・定義	各年度中に新たに任命する遣島使数	実績値	12.00	14.00	9.00	8.00		人
		達成率		175.00	112.50	100.00		%
指標名	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位	
								目標値
式・定義	実績値	0.00	0.00	0.00				
		達成率		0.00	0.00			%

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	50	50
うち一般財源(千円)	50	50

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	①順調に進んでおり課題がないため検討していない
---------------------	-------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基じた現状）

JETプログラムで来日し、島根県の行政機関において一定期間勤務した国際交流員等に、継続して島根県に関する情報提供を行うことで、離れた後も島根を忘れることなく、島根の良さについて周囲に対してPRを行ってもらうことを期待するもの。交流員等の交代により、年々総数は増えていくものであり、情報発信の幅が広がるものとする。

海外県人会については、島根県出身者や縁の方の親睦組織であり、継続して島根に関する情報提供を行うことで、故郷に関心を寄せてもらうとともに、島根の良さを周囲にPRしていただくことを期待する。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

年に一度、全ての遣島使に継続意思の確認を行っており、継続いただいた方については、幅広い方面で活躍されていることもあり、新規登録者とあわせてネットワークは確実に拡大している。

県人会の活動については、地域により活動の内容は異なるが、政府の移住政策により地方自治体としても移住を推進した南米地域の県人会にあつては、ブラジルを中心に活発な取り組みが実施されている。バンコクにおいては、山陰合同銀行バンコク事務所や島根サポートデスクの開所にあわせて山陰同郷会も結成されるなど、新たな展開もあった。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

遣島使、海外県会とも、県民との直接的な関わりが薄い部分があり、県民ニーズに応える事業とは言い難い状況であること。

②困っている状況が発生している「原因」

帰国交流員や海外移住・居住者と、県民との接点が少ないことが原因。

③原因を解消するための「課題」

帰国した交流員や、海外県会の状況を、県等のホームページで紹介する工夫をしたり、現地情報として、メディア等に取り上げてもらう努力を行うこともひちようかと考える。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

海外での県内企業の事業展開や販路拡大、伝統芸能の紹介などをすすめる場合にあっては、現地でのサポートの有無が重要であり、そのためにも多彩多様な経歴を持つ遣島使との関係維持や、県人会活動の支援は重要と思われるため、引き続きネットワークの拡大に努める。

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）